



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社タクマ 上場取引所 東  
コード番号 6013 URL <https://www.takuma.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南條 博昭  
問合せ先責任者(役職名) 経営企画本部 (氏名) 小林 寛幸 (TEL) 06-6483-2602  
広報・IR部長  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	104,852	4.2	6,264	△32.0	7,095	△29.0	4,947	△29.5
2023年3月期第3四半期	100,668	7.5	9,212	73.6	9,986	69.0	7,019	72.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 8,622百万円( 14.6%) 2023年3月期第3四半期 7,524百万円( 78.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	61.85	—
2023年3月期第3四半期	87.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	182,485	105,979	57.8
2023年3月期	179,688	101,167	56.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 105,405百万円 2023年3月期 100,599百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	19.00	—	24.00	43.00
2024年3月期	—	24.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,000	2.3	10,300	△25.4	11,000	△25.1	7,700	△20.0	96.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料の10ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	83,000,000株	2023年3月期	83,000,000株
2024年3月期3Q	2,978,478株	2023年3月期	3,047,184株
2024年3月期3Q	79,994,560株	2023年3月期3Q	80,063,333株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	11
3. 予想補足資料	12
(1) セグメント別連結業績予想	12
(2) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費予想	12
4. 補足資料	13
環境・エネルギー(国内)事業の内訳	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間				前年同期比増減額		
	受注高	売上高	営業損益	受注残高	受注高	売上高	営業損益
環境・エネルギー(国内)事業	115,031	83,154	6,549	479,522	49,913	1,131	△3,436
環境・エネルギー(海外)事業	1,834	1,652	43	6,209	682	790	167
民生熱エネルギー事業	14,863	13,513	895	7,290	649	1,425	356
設備・システム事業	6,758	6,828	621	11,574	△4,660	867	22
計	138,487	105,150	8,109	504,597	46,584	4,214	△2,890
調整額	△264	△297	△1,845	△15	7	△30	△58
合計	138,223	104,852	6,264	504,582	46,591	4,184	△2,948

当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、受注高は主に環境・エネルギー(国内)事業の増加により前年同期に比べ46,591百万円増加の138,223百万円、売上高はいずれのセグメントも増加し4,184百万円増加の104,852百万円となりました。

損益面においては、環境・エネルギー(国内)事業の減益により、前年同期に比べ営業利益は2,948百万円減少の6,264百万円、経常利益は2,891百万円減少の7,095百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,071百万円減少の4,947百万円となりました。

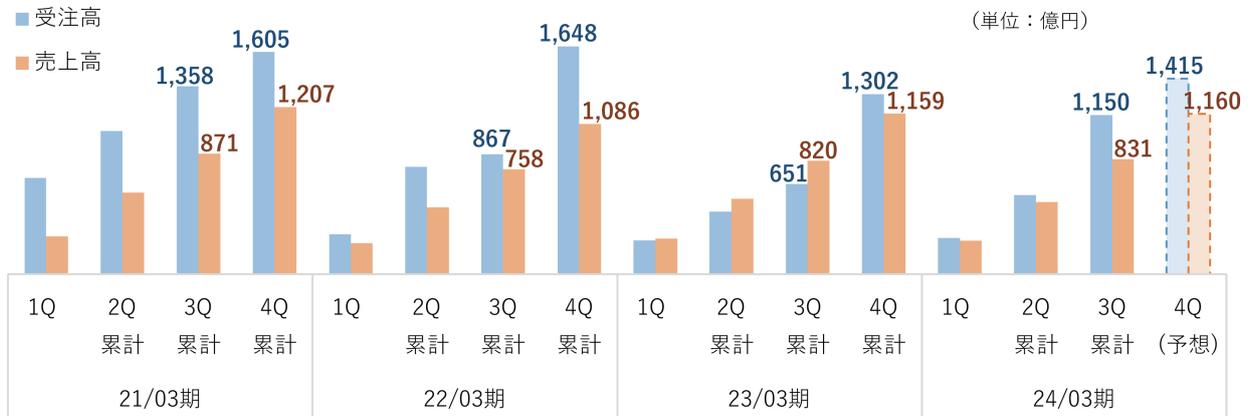
セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[環境・エネルギー(国内)事業]

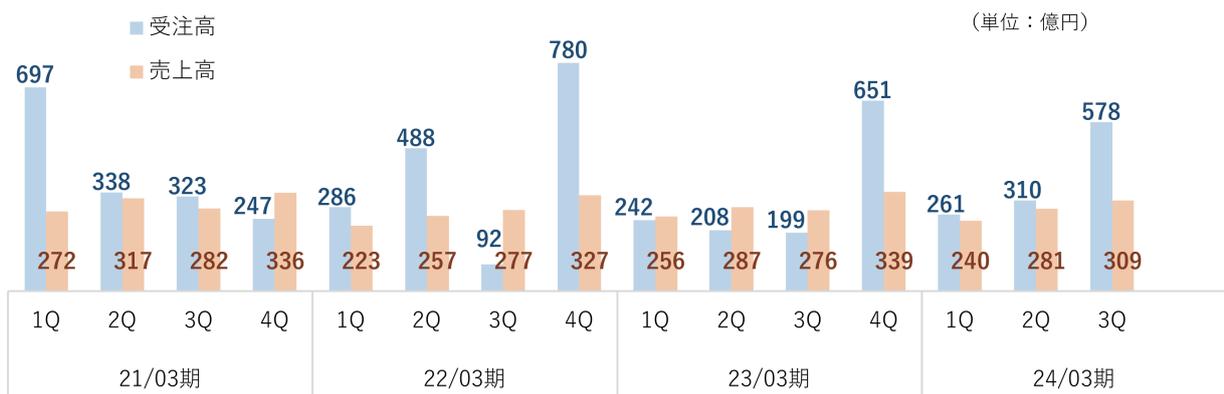
当第3四半期連結累計期間においては、ごみ処理プラントのDBO事業(建設・運営事業)1件、バイオマス発電等のエネルギープラントの新設7件を受注したほか、下水処理場向け砂ろ過設備の大型更新工事や汚泥焼却発電プラントなどを受注し、受注高は前年同期※に比べ49,913百万円増加の115,031百万円となりました。また、売上高は主にアフターサービスの増加により前年同期に比べ1,131百万円増加の83,154百万円となりました。一方、損益面ではEPC事業における案件構成の変化や、播磨新工場の稼働に伴う償却負担の増加、人件費・研究開発費など営業費用の増加に加え、受託しているごみ処理プラント(ガス化溶融炉)のO&Mにおいて設備の不具合が発生し、第2四半期連結会計期間において復旧に向けた対策費用を計上したことから、営業利益は3,436百万円減少の6,549百万円となりました。なお、対策費用の計上による当第3四半期連結累計期間の損益への影響額は約10億円であります。

※ 前年同期の主な受注：ごみ処理プラントの基幹改良工事1件、長期O&M1件、エネルギープラントの新設6件など

《受注・売上推移(四半期累計)》



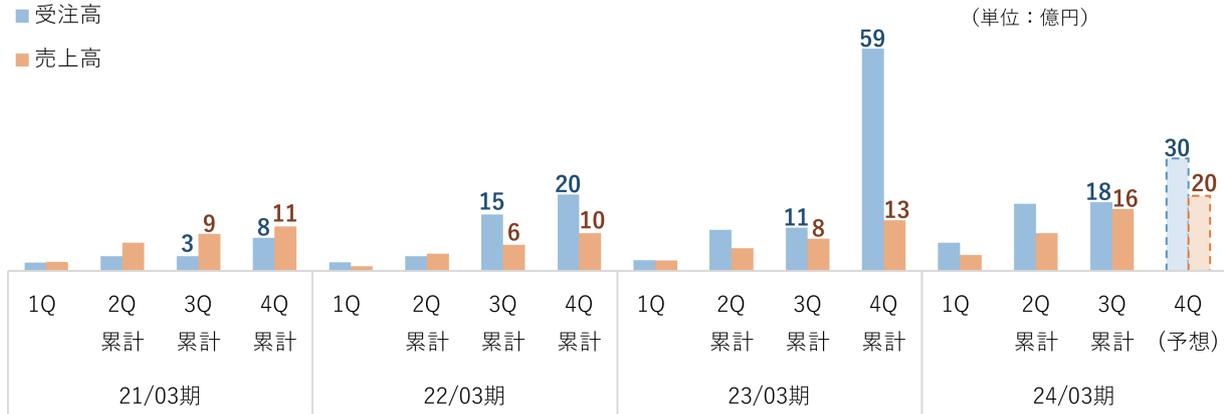
《受注・売上推移(四半期毎)》



[環境・エネルギー(海外)事業]

当第3四半期連結累計期間においては、主に前期受注したベトナムの廃棄物処理プラント案件において追加受注を計上したことにより、受注高は前年同期に比べ682百万円増加の1,834百万円となりました。また、メンテナンス売上の増加や受注済みプラントの進捗等により、売上高は前年同期に比べ790百万円増加の1,652百万円、営業損益は前年同期の営業損失124百万円から43百万円の営業利益となりました。

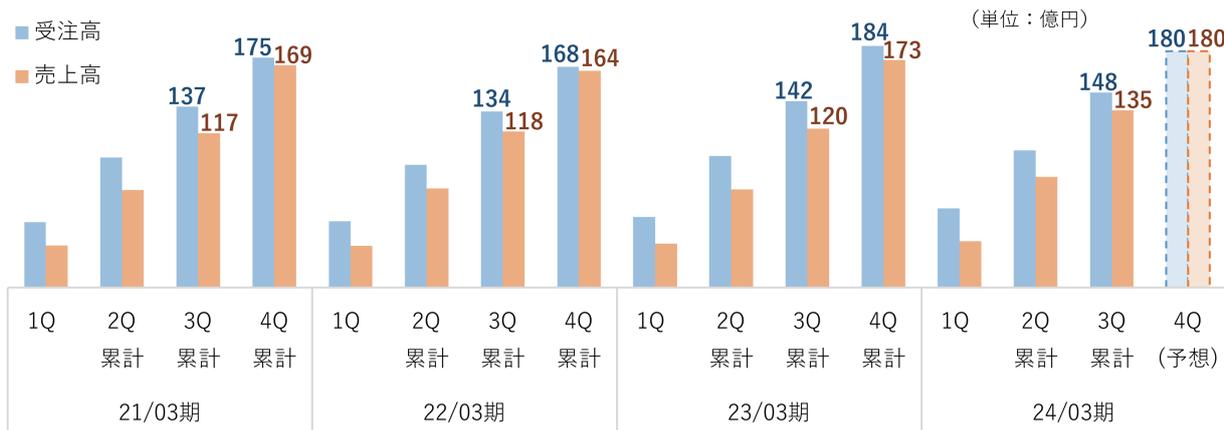
《受注・売上推移（四半期累計）》



[民生熱エネルギー事業]

当第3四半期連結累計期間においては、大型案件の受注などもあり、前年同期に比べ受注高は649百万円増加の14,863百万円となりました。また、受注済み案件の進捗や大型案件の完工などにより、売上高は1,425百万円増加の13,513百万円、営業利益は356百万円増加の895百万円となりました。

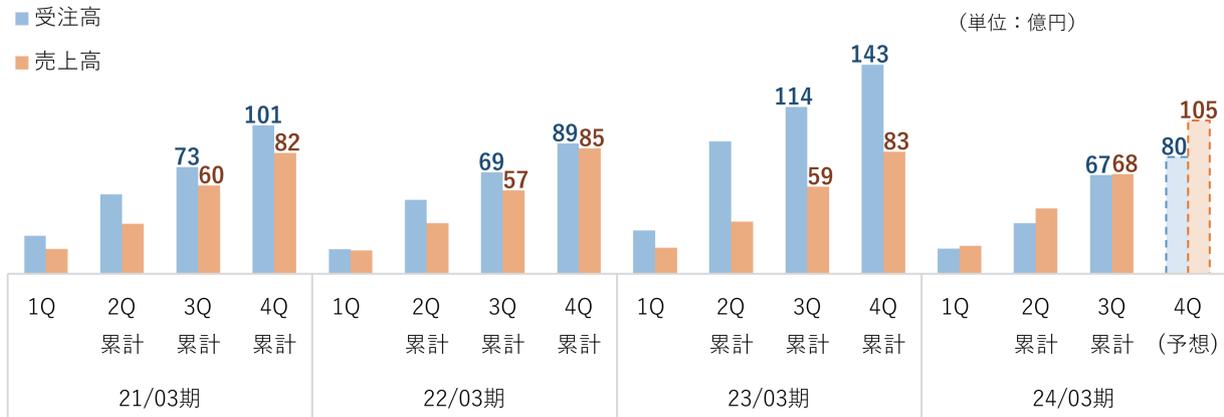
《受注・売上推移（四半期累計）》



## [設備・システム事業]

当第3四半期連結累計期間においては、前年同期に建築設備事業において大型案件の受注があった反動や半導体産業用設備の減少により、受注高は前年同期に比べ4,660百万円減少の6,758百万円となりました。一方で、受注済み案件の進捗により売上高は867百万円増加の6,828百万円、営業利益は22百万円増加の621百万円となりました。

## 《受注・売上推移（四半期累計）》



なお、環境・エネルギー(国内)事業においては、第4四半期にもごみ処理プラントの建設工事や運営事業などの受注を見込んでおります。また、受注済みプラントの建設工事も順調に進捗しており、通期の受注高170,000百万円、経常利益11,000百万円の達成に向けて鋭意取り組んでまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は182,485百万円と前連結会計年度末に比べ2,796百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が14,163百万円の減少となったものの、棚卸資産が6,080百万円、投資有価証券が5,088百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が3,249百万円、有形固定資産が1,091百万円の増加となったことによるものであります。

負債は76,505百万円と前連結会計年度末に比べ2,015百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が2,797百万円の減少となったことによるものであります。

純資産は105,979百万円と前連結会計年度末に比べ4,812百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3,602百万円の増加となったほか、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が1,108百万円の増加となったことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.8%と前連結会計年度末に比べ1.8ポイントの増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

老朽化したごみ処理プラントの更新や延命化対策、エネルギー政策を背景としたバイオマス発電プラントの建設など当社グループの主要製品には引き続き需要が見込まれております。一方で、鋼材をはじめとする資機材価格の上昇や納期の長期化など、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループの2024年3月期の業績につきましては、2023年11月8日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループでは、通常の実業形態として、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけて進捗、引渡しが多くなる傾向にあり、業績においても第4四半期での売上高が他の四半期と比較して大きくなるなど季節的変動が大きいことから、業績管理については年次のみで行うこととしております。

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	65,242	51,078
受取手形、売掛金及び契約資産	60,851	64,100
棚卸資産	6,011	12,091
その他	2,159	5,277
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	134,249	132,533
固定資産		
有形固定資産	18,436	19,527
無形固定資産	540	702
投資その他の資産		
投資有価証券	18,280	23,369
その他	8,317	6,487
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	26,462	29,721
固定資産合計	45,439	49,952
資産合計	179,688	182,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,610	24,948
電子記録債務	14,749	17,549
短期借入金	220	220
未払法人税等	3,362	565
契約負債	11,059	12,594
賞与引当金	3,789	2,340
製品保証引当金	215	178
工事損失引当金	625	1,073
その他	6,208	4,849
流動負債合計	66,840	64,319
固定負債		
役員退職慰労引当金	266	257
退職給付に係る負債	10,980	11,501
その他	433	427
固定負債合計	11,680	12,186
負債合計	78,521	76,505
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,873	3,886
利益剰余金	82,045	83,153
自己株式	△3,916	△3,827
株主資本合計	95,370	96,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,227	8,829
繰延ヘッジ損益	48	△23
為替換算調整勘定	91	121
退職給付に係る調整累計額	△138	△102
その他の包括利益累計額合計	5,229	8,824
非支配株主持分	567	574
純資産合計	101,167	105,979
負債純資産合計	179,688	182,485

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	100,668	104,852
売上原価	78,823	84,813
売上総利益	21,844	20,039
販売費及び一般管理費	12,631	13,774
営業利益	9,212	6,264
営業外収益		
受取利息	14	18
受取配当金	534	610
持分法による投資利益	104	110
その他	181	142
営業外収益合計	834	882
営業外費用		
支払利息	1	1
コミットメントフィー	21	21
固定資産処分損	17	12
その他	20	15
営業外費用合計	60	51
経常利益	9,986	7,095
特別利益		
投資有価証券売却益	153	486
特別利益合計	153	486
特別損失		
新工場建設関連費用	185	438
その他	-	63
特別損失合計	185	501
税金等調整前四半期純利益	9,955	7,079
法人税等	2,875	2,061
四半期純利益	7,079	5,018
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,019	4,947

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	7,079	5,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	398	3,602
繰延ヘッジ損益	△17	△72
為替換算調整勘定	6	38
退職給付に係る調整額	56	35
その他の包括利益合計	444	3,603
四半期包括利益	7,524	8,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,462	8,542
非支配株主に係る四半期包括利益	61	79

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立した大阪中央ハイトラスト(株)、足利ハイトラスト(株)及び白石ハイトラスト(株)を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債(その他)として繰り延べております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	81,803	837	12,066	5,959	100,668	—	100,668
セグメント間の内部売上高 又は振替高	219	24	21	2	267	△267	—
計	82,023	862	12,088	5,961	100,935	△267	100,668
セグメント利益又は損失(△)	9,986	△124	539	599	10,999	△1,786	9,212

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,786百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,920百万円及びその他の調整額133百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	82,933	1,617	13,475	6,825	104,852	—	104,852
セグメント間の内部売上高 又は振替高	221	34	38	2	297	△297	—
計	83,154	1,652	13,513	6,828	105,150	△297	104,852
セグメント利益	6,549	43	895	621	8,109	△1,845	6,264

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,845百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,974百万円及びその他の調整額129百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 予想補足資料

## (1) セグメント別連結業績予想

(単位：百万円)

セグメントの名称	2024年3月期(予想)		
	受注高	売上高	受注残高
環境・エネルギー(国内)事業	141,500	116,000	473,146
環境・エネルギー(海外)事業	3,000	2,000	7,028
民生熱エネルギー事業	18,000	18,000	5,940
設備・システム事業	8,000	10,500	9,144
計	170,500	146,500	495,260
調整額	△500	△500	△48
合計	170,000	146,000	495,211

## (2) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費予想

(単位：百万円)

	2023年3月期(実績)	2024年3月期(予想)	増減
設備投資額	7,100	3,600	△3,500
減価償却費	1,136	1,900	763
研究開発費	1,150	2,000	849

## 4. 補足資料

## 環境・エネルギー(国内)事業の内訳

(単位:億円)

	2024年3月期第3四半期(実績)		
	受注高	売上高	受注残高
一般廃棄物処理プラント(EPC)	121	235	1,159
一般廃棄物処理プラント(アフターサービス)	450	290	2,489
エネルギープラント	322	228	853
水処理プラント・その他	253	75	293
調整額	2	2	0
計	1,150	831	4,795